

前向きに強く がんにも負けぬ

パートナーワーカー初
現場代理人会役員に

仲間と共に本郷で生きる



10代からのつきあいでなんやかんやあって、色々あって、今一緒に仕事して、ほんで今やけど、まだまだこの先、共に生きていかなあかんから、とりあえず、早く戻ってきなさい。-寄せ書きより

仲間からの寄せ書き 言外に伝える優しさ
抗がん剤治療中の体で解体現場に出る。現場では室内での溶接作業が増えた、という。「何も言わなくても、体に負担の少ない仕事を配慮してくれているのがわかる」と杉井。靴からスケッチブックを取り出してページを開いた。がんの摘出手術後、入院していた杉井に、本郷工業の仲間が送った寄せ書きだった。様々な応援メッセージが杉井を励ましていた。その中に、おおいそいなラーメンの写真をくりぬいて、今にも食べようという男のページがあった。「うまさうやろ。食いたかったら、はよ戻ってこい」。同じ現場で働く田中からだった。

がん克服した今 温かい絆さらに深く
大事そうに靴にしまった杉井は「会社の外の人間で、がんになって仕事休んで。迷惑かけているのに、こんな寄せ書きももらえるなんて考えられないでしょ。温かい会社です」と、ほそとと語った。昨年12月、社外スタッフながら現場代理人会副会長に選ばれた。そして、今年、本郷社長から再びオフィサーが来た。「現場代理人にならないか」。仕事は楽しい。みんなとのつながりもある。「今年の10月、現場代理人にきちんとなれるようにしないとね」。今日も寒空の下、仲間のいる現場に向かう。



パートナーワーカーから 現場代理人を視野に
十代から建設会社で働いてきた。ゴルフ場施設の建設や、大型リゾートマンションの建設で建築現場の仕事覚えてきた。相手をしっかりとみて、考えながら静かに、ゆっくりと質問に答える。「正確に測量して、数字通りに作業を進めるのが建築の仕事」という。今、同じ解体現場で一緒に仕事をする田中は「杉井は細かすぎるくらいに細部に注意を払って仕事を進める」と、杉井の仕事を評した。「仕事は頑張ったふりではだめ。頑張らんでいい。でも、一所懸命

がんとの闘い 何があっても前を向け
独立独歩で働いてきた。しかし、一年半前の夏、ターニングポイントがやってきた。16年8月、別件で検査を受けていた杉井に「膀胱がん」が見つかった。父も母もがんで亡くしていた。「やはり自分もか」と、目の前の現実を受け止めた。仲間にはLINEのメッセージで「オーマイガーン」とふざけてみせた。膀胱という隠れた臓器。がん摘出手術は9時間に及ぶ大手術だったが、手術室に入る直



パートナーワーカー
杉井 義則 (45歳)

PROFILE

1972年4月9日生
出身地 兵庫県尼崎市
家族 妻・久美さん、長男・隆太郎くん(13)、次男・貴太郎くん(7)と三男・麟太郎くん(5)の5人家族。
社歴 十代のころから建設現場の仕事に携わってきた。2012年から、本郷工業専属のパートナーワーカー(PW)に。主に田中裕行現場代理人のもと、解体現場で活躍している。昨年12月、PWスタッフとしては初めて、現場代理人会の副会長に選任された。今年10月からは本郷工業に入社し、現場代理人に就任予定。

筆者紹介:住田崇(すみだ たかし)
元京都新聞記者。民泊管理運営代行・WEB制作会社(株)スタートレックKYOTO代表取締役。京都市在住。



妻・久美さん
病気で、仕事をまじめに続ける姿に、頭が下がるといいます。これまでも、どんな困難にも常に前向きに考えて乗り越えてきた夫に、私は支えられてきたんだと思います。そんな父の影響か、長男は弟たちの面倒をよくみてくれます。優しい、強い子に育っています。子供たちにもっと優しい父になってくれたら、言うことなしです。長生きしてほしいから、無理はしないでください。

家族からのメッセージ



HONGO PRESS とは

「人こそ会社の財産、文化、未来」これは弊社の信念です。縁あって弊社で働いている社員ひとり一人の姿、人となりをみな様に紹介することは、弊社の姿をみな様に知っていただくことと同じです。その役割をこのプレスは担っています。

The key person for Yoshinori Sugii

田中裕行 (45) 現場代理人

中学からの付き合い。互いに高校中退して。あいつの場合、一年もってへんでしょ。私が会社を興したときに声を掛けたら応援に来てくれた。本郷工業に入社してからも一緒です。細かい性格やから、おおざっぱな私のプレーキ役です。口数は少ない男だけど、前向きで強い精神力を持つ生き様は、若い現場代理人たちにも影響がある。それにしても、仕事、細かすぎるねん。



泣き言は言わない 日常通りを買きたい
取材中、ずっとかぶっていたニット帽をとり、坊主頭を見せた。左胸には抗がん剤を静脈に入れるためのポートと呼ばれる医療装置が移植されている。「薬が体に合ったんでしようね。今は肝臓から影は消えています」。抗がん剤治療中は、手足が冷え、しびれる。食欲もない。

体がだるい。それでも、何も言わず、仕事を続ける。家に帰れば夜勤の妻に代わり、ゴミ出し、食後の皿洗いをする。休みの日には必ず三人の息子を連れて外に出る。日常を決して崩さない。「子どもたちには、自分の親父はこんな人、と記憶に残しておきたいから」。



HONGO PRESS

ongou Industry Co. No.19

2018.2.1発行



Special Features of this month: Yosinori Sugii



有限会社 本郷工業
 ◆草津工事管理本部
 〒525-0058
 滋賀県草津市野路東6-3-4 プレジオ3 1F
 TEL:077-566-8200 FAX:077-566-2234
 MAIL: hongo@pop.biwako.ne.jp
 HP: www.hongou-i.jp

◆近江八幡営業所
 〒523-0893
 滋賀県近江八幡市桜宮町206-23 プレジオ5 5F
 TEL:0748-53-2117 FAX:0748-43-2118



本郷工業familyで伊勢神社参拝へ行ってきました



1月5日、メンバー全員・家族で毎年恒例 伊勢神社参拝へ行ってきました。古くからの慣わしの通り、まずは 外宮 を参拝させて頂いてから 内宮 を参拝させて頂きました。ご祈禱を受け、御神楽を奉納させて頂き、伊勢神宮の神聖な気にふれさせていただくことができ、2018年も更なる進化の年であることを従業員一同で誓いました。参拝の次は おかげ横丁 で食べ歩きやお土産を買ったりと、楽しい時間を過ごし、道中のバスでは子供から大人までゲームで盛り上がり、新年早々とても素敵な1日となりました。

Hongo News Letter

2018.1.4 伏見稲荷大社参拝



2018年の安全を祈願して 代理人全員で伏見稲荷大社へ参拝してきました

おかえりなさい

昨年10月末からベトナムへ、一時帰国していたベトナム実習1期生2名が1月19日に本郷工業へ帰ってきてくれました!!久しぶりの再会に盛り上がる代理人はじめ従業員一同でした(^^)

初出式

2018年本郷工業 初出式を1月9日に従業員一同で行いました。佐藤代理人会会長はじめ各部門長からの挨拶・新年の抱負発表や、従業員全員の抱負発表なども行い、2018年のスタートを社員・関係者全員で祝福できました。本郷工業は2018年もさらに進化していきますので、何卒よろしくお願いたします!!



2018

